

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

(こども園・保育所等・小規模保育)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ACOBA
所 在 地	千葉県我孫子市本町3-4-17
評価実施期間	令和8年1月26日～令和8年3月25日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	社会福祉法人我孫子大樹会 天王台さくら保育園 シャカイフクシホウジン アピコダイジュカイ テンノウダイサクラホイクエン		
所 在 地	〒270-1176 千葉県我孫子市柴崎台4丁目9-7		
交 通 手 段	JR常磐線「天王台駅」から徒歩10分		
電 話	04-7197-7093	FAX	04-7197-7094
ホームページ	http://www.sakurahoikuen.pink/		
経 営 法 人	社会福祉法人我孫子大樹会		
開設年月日	平成26(2014)年4月1日		
併設しているサービス	子育て相談 (連携園) 我孫子さくらっ子保育園		

(2) サービス内容

対象地域	我孫子市域						
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
	7	15	16	18	17	20	93
敷地面積	540.67㎡			保育面積		328.95㎡	
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		子育て支援
	○		○		○		子育て相談
健康管理	身長・体重測定(毎月1回)、胸囲・頭囲(年2回) 内科健診・歯科健診(各年2回)						
食事	完全給食(夏季・年末・年始お弁当期間あり)・土曜給食あり						
利用時間	月曜～金曜 7:00～20:00、土曜 7:00～17:00						
休 日	日曜・祝日・年末年始						
地域との交流	天王台ふれあい祭り、地域イベント絵画展示、自治会に加入(パトロール、ゴミ拾いに参加)						
保護者会活動	保護者会なし						

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	9名	19名	28名	ほかに育休常勤者2名
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	栄養士	調理師	その他専門職員：保育補助者
	20名	1名	1名(業務委託)	
	保健師	看護師	その他専門職員	
			7名	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	空き状況を確認の上、当園にて面接し内諾決定の後、必要書類を我孫子市役所子ども部保育課まで提出してください。	
申請窓口開設時間	平日の8：30～17：00	
申請時注意事項	書類等の詳細は我孫子市子ども部保育課HPでご確認ください。 4月入園は11月に我孫子市役所が一斉募集します。	
サービス決定までの時間	入園希望前月の20日までに書類を提出します。21日頃決定し、25日頃保育課より通知があります。	
入所相談	入園に関する問い合わせは我孫子市子ども部保育課にご連絡ください。 空き状況や園生活に関する問い合わせは当園にご連絡ください。	
利用代金	我孫子市の基準によって世帯の市区町村民税所得割額によって決まります。 その他、延長保育料・教材費など別途負担となります。	
食事代金	(給食費) 主食1000円、副食5000円	
苦情対応	窓口設置	山崎加寿美・佐藤みどり
	第三者委員の設置	須藤俊直・大井進

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>〔保育理念〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育む保育を目指します ・夢を育み国際性豊かな保育を目指します ・地域に信頼される安心安全な保育を目指します <p>〔保育目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生命」と「健康」を考える子ども ・「夢」や「希望」を持てる子ども ・どんな社会でも「生き抜く生活の智慧」を身につける子ども <p>〔保育方針〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの発達に焦点をあてた「考える保育」をします ・これからの時代に適応できる国際性のある自立した子どもを伸ばす保育を行います。 ・家庭との連携を大切に子どもの成長を見守る保育をします
<p>特 徴</p>	<p>当園はお子様の人権や主体性を尊重し、安全と癒しの中で心身ともに健康で自立し、自己表現力や国際性を身に付け、想像力豊かに育つ環境づくりを目指します</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JR天王台駅に近く、園近隣には公園があります。 ・給食では食育活動に力を入れ、季節の食材を積極的に取り入れ、各行事食（七夕・クリスマス・節分等）や嗜好により子どもたちが楽しみにする献立提供をしています。また、野菜の皮むきやトライクッキング等により食材に触れ、食に対する興味が出る保育をしています。 ・夏祭りや運動会などの行事では、毎年新しいテーマを取り入れ工夫を凝らしながら楽しく行っています。 ・英語教室・リトミック・体操教室などを保育に取り入れています。

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること

1. 声かけから始まる「考える保育」の実践

現代社会はAIなどを日常的に使用する世の中へと変わりつつある。自分で理解して考えて行動することが益ますます必要な社会にこども達は生きていくことになる。当園は乳児から幼児期まで一貫して「考える保育」を提供しようとしている。卒園式に向けてのリハーサルで、保育者がこども達へしていた声かけでは「なぜそうするのか？」をわかりやすく伝えていた。これらの声かけは指示ではなく、自ら考えて行動する人へとつなげようとする教育的な配慮から行われている一つの動機づけだと思われた。保育方針にある「考える保育」と「これからの時代に適応できる（中略）子ども」を目指した実践が行われている。

2. 季節や自然の食材の利用と工夫した行事食などこだわりの食育

ホームページに「化学調味料は使用しません」「カレー、シチューのルーも手作り」「汁物の出汁は昆布とかつお節」と明示、食事と食材へのこだわりを掲げている。季節の食材を取り入れた献立や行事食によって、こどもは「食べること」の楽しさや興味をもつ。園では野菜の皮むきやトライッキングなどによって、こどもが食材に直接触れたりしながら食事への関心が深まるようにしている。食材にこだわると共に、自らが関わった料理を食する機会をつくり、食に対して興味がわくような食育を進めていることは、保育目標の一つ『「生命」と「健康」を考える子ども』の具現化そのものである。

3. 音感・リズム感・運動能力を引き出す教育環境づくり

音感（英語の発音、聞き分けなども含む）・リズム感・運動能力などのこどもの能力は、幼児期に経験することで発達し、自覚することなく身に付くと言われる。その意味で、当園はリトミック・英語教育・体育指導と望ましい幼児期の教育環境づくりに取り組んでいる。ただし、それらは楽しいことが基本であり、指導者の資質や教育方針を常に確認する必要がある。特に英語指導における発音や発声、体育指導では運動能力の発達など個人差への配慮等が大切である。早期教育にありがちな能力を競わせる指導は苦手意識を育ててしまう危険性があるので指導内容に注意しながら、充実した環境づくりに努めていただきたい。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 時代の要請による諸規程の積極的な公表

個人情報保護・コンプライアンス（法令遵守）・プライバシー保護等々は、社会の課題として昨今しばしば耳にしたり目にしたりするテーマである。当園もこのような状況を捉えて、必要な規程類を整備している。しかし、それらに関して方針など考え方が重要事項説明書などに記載されていない。現在これらの事項はホームページなどで公表している保育施設が一般的である。社会に関わる保護者への姿勢としても必要なことと思われるので、取り組みが望まれる。

2. 均衡のとれた職員構成となるような雇用

常勤職員に比較してパート職員の割合が高い職員構成となっている。そのため、常勤者にかかる負担が多くなることは否めない。有資格者の配置基準を満たしていても、中身として常勤職員の占める割合が高い方が園児を預ける保護者に大きな安心感を与える。また、保育全般に生じる責任の重さは常勤職員が担うことになることや、シフト勤務上のいわゆる「早番」や「遅番」に常勤職員が担当することが多くなりがちであり、保育者の人材確保をする上においても条件的に厳しさを増す。非常勤のままの勤務を選択する理由などを分析し、常勤職員のメリットを増やしたりすることはできないか、検討してみたいだろうか。職員全体の勤務の平準化を目指した雇用のもと、均衡のとれた職員構成が実現するよう今後に期待したい。

（受審事業者のコメント）

お忙しい中、第三者評価を行っていただき、ありがとうございました。

良いと評価を受けたところは、自信を持ち今後の保育実践にさらに活かしていきたいと思います。また、さらに取り組みが望まれる事項については、できることから取り組んでいきたいと思います。R8年度、重要事項説明書の見直しを行い、[虐待防止のための処置・人権尊重・個人情報保護に関する方針]を加えました。ホームページなども今後更新していきたいと思います。職員構成についても正職員雇用に力を入れつつ、負担が過重にならないよう日常の保育の見直しを考えていきたいです。アンケート結果についてはできるところから見直し実践し、取り組んでいきます。保護者向けでは、朝の受け入れ時に職員を玄関に一人配置し、挨拶等保護者や園児に元気で明るく接することを周知しました。職員向けでは、パート職員会議を月1回行い要望や意見が言いやすい環境を整備しました。また、業務の負担に関しては、園の現状等を伝え保護者にお願いすることや、やり方の改善等提案を行い、業務の軽減と心の余裕を持って保育が行えるように改善を考えています。今回の第三者評価実施に伴い本園の運営や保育などを改めて見直すことができました。ありがとうございました。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	□未実施数	☒非該当	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4		
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3			
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	4	3	
		3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4		
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	1	2		
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	6	1		
		職員の質の向上への体制整備	7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	3	2		
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	1	3		
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	3	2		
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3		
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	1	3		
			利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4		
		利用者意見の表明	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4			
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3			
		提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	3	1		
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2			
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4			
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4			
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5			
		項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6			
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5			
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5			
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5				
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。			4				
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。			6				
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。			6				
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。			4				
28 家庭との連携が十分図られている。			3				
29 地域社会との連携が十分図られている。			3				
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3						
子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3					
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4					
	33 食育の推進に努めている。	5					
5 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3				
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4				
	災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6				
6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	3	2			
		計	140	19	0		
				☑実施数	□未実施数	☒非該当	

項目別評価コメント（こども園 保育園 小規模保育）

（利用者はこども・保護者と読み替えて下さい）

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。 非該当

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>（評価コメント）</p> <p>理念と基本方針は、職員が目に触れやすいように園事務所に掲示し周知している。入園時に保護者に配付する「入園のごあんない」にも記載され、職員も所持している。月1回の職員会議や乳幼児会議、毎日の朝礼で保育実践について話し合うが、理念と方針に照らして話し合いを進めている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>（評価コメント）</p> <p>保護者に配付する「入園のごあんない」には理念と基本方針とが記載されている。それを用いて入園時に保護者へ説明している。年度当初に開く保護者会でも周知している。月1回発行の「園だより」に理念を記載したり、保育実践について理念や基本方針に絡めて伝えていたりしている。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>事業運営に関して事業計画書が作成されている。しかし、事業概要書のような内容になっていて、展開する保育事業についての課題を明らかにして取り組むべき対策などを明確化するには至っていない（事業報告書には課題やそれに対応した実践などを読み取れる部分があるので、それを生かして計画書づくりが今後期待できる）。保育実践に直接関係する全体的な計画や年間指導計画等については、園長・主任と一般職員が振り返りもとに話し合っって作成し、実施されている。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>当園では人事評価を年2回、職員の個別面談を年1回実施している。園長はその機会を利用して職員から働き方の意見や要望・保育の進め方などを聞いたり、必要に応じた励ましや助言等を行っている。そのほか、日常的にも職員とのコミュニケーションを重要視し、諸会議で保育実践について話し合うようにしている。研修は外部・内部研修共に職員の希望や園の必要から計画的に行っていて、保育の質向上を図っている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>法人の定款や就業規則などを職員は閲覧できるようになっている。しかし、本項目の確認すべき内容は法人や園内の規程類にとどまらず、保育事業の根本となる法律や規則、倫理に関する行政の指針等が明示され周知されているか、そして、法令遵守のポリシーと倫理について定期的な研修をしているかを点検するものである。プライバシー保護と共に、社会的信用を維持するために社会から現在強く求められていることを更に認識を深めた実践が望まれる。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント)			
登降園管理や諸連絡や園の便りなどのメール配信などICT化を進め、書類作成の簡素化や玄関モニターカメラの設置など業務の効率化を図っている。休暇や時間外勤務の管理は園長など幹部職員がチェックしている。職員は園長・主任との日常的に作られた人間関係の中で、就業に関する意見などがあった場合には話し合える環境ができている。年休は15分単位で利用でき、年末の職員親睦会に費用助成があるなど、福利厚生にも取り組んでいる。			
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
園児の受け入れ見込みを立て、それに基づいた人材確保にむけた職員募集を多方面にわたるツールを利用して実行している。職務の役割・業務分担について明確化されているが、権限に関しては規定等が作成されていない。評価表を用いて職員の評価を行い、園長は個人面談も実施し職員個々の意向などを確認している。評価方法は明示されているが評価基準は示されていない。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
人材や人員体制に関する考え方や育成方針について、具体的な計画は確認できなかった。しかし、人材確保については、ハローワークや求人サイトの利用・専門学校等への照会など多様なツールを利用して毎月募集するなどして採用活動に取り組んでいる。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
具体的な人材育成計画や職員の能力基準は立てられていない。研修については、園内研修・園外研修共に計画を立て、職員個々のスキルアップを考慮して参加を促している。OJTは主任や保育経験の保育者が担当し、新人保育者の教育訓練にあたっている。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
こどもの権利擁護については行政の研修に職員が参加、その内容を他の職員が共有できるように園内研修を行っている。全国保育士会の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を実施、その結果をまとめて職員に示してこどもの権利と意思の尊重を促している。職員の虐待行為や不適切な関わりについては、園長・主任がクラスの保育状況を定期的に見ながら必要な指導に努めている。研修テーマにあわせて園内研修も実施している。			

11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報保護について職員は採用時に誓約しその後も園内研修を行って、その重要性を認識している。しかし、個人情報保護方針について法人や園が定める規程類が確認できず、ホームページや園パンフレットなどによる公開、重要事項説明書への記載もされていなかった。保護者が保護方針を知ることができるよう改善が望まれる。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
保護者との面談を年2回実施、こどもの園生活を伝えたり家庭での様子を聞いたりしている。発達その他についての相談や要望も伺い、内容は記録している。登降園時には職員が玄関前に立ち、保護者が声かけしやすいよう配慮している。行事については事後にアンケートをとって、次回に活かすようにしている。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
苦情解決に関する規程が整備され、苦情解決マニュアルもあり仕組みができています。保護者に配付する重要事項説明書には相談・苦情受付の担当者と解決責任者及び第三者委員が明記されている。玄関ホールにも掲示し、保護者に周知している。規程に基づいた苦情等をこれまで受けたことはない。現時点では第三者委員が当法人の理事となっているため、当該規程に沿った人材に委員を変更することが必要と考える。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
自己評価を定期的に行い、その全体の結果についての集計結果を公表して課題解決を図って保育の質の向上を目指している。保育については全体的な計画に基づいた年間指導計画・月案・週案・日案と計画を立てて実践、月1回の職員会議等で振り返りを行い次につなげていくPDCAサイクルを実行している。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
感染症や事故発生時など特殊な場合についてのマニュアルは用意してあるが、日常的業務についてのマニュアルは確認できない。一日の保育の流れなどは経験的に伝えられていることが多いと考えられるので、基本的な業務マニュアルの整備については今後を待ちたい。その他のマニュアル類は必要に応じて利用できるようになっていて、見直しも定期的な会議や研修の機会を利用して行われている。			

16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>見学は随時受け付けている。3家族単位で園長が対応し、見学時にパンフレットに基づいて施設案内をしながら内容を伝え、質問にはその都度答えている。4月から年間20家族が見学している。</p>			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
<p>(評価コメント)</p> <p>入所決定後の保護者会で「入園のご案内」と「重要事項説明書」を配付。内容を説明してから同意書を提出してもらい保管している。配付資料には、保育理念や保育園生活に必要なもの・災害時の対応や心構え・毎月の費用などが細かく記載されているが、質問にも丁寧に答えるようにしている。当初の保護者会では、保護者からの要望や相談も受けている。</p>			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画は児童憲章や児童福祉法・保育所保育指針に基づき作成されている。前年度のこどもの家庭環境や地域を考慮した上で、発達過程に基づき年齢ごとに計画されている。当計画を受けて、担任や職員が年間計画を作成、振り返りを行い、次年度への申し送りをしている。</p>			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント)</p> <p>年齢ごとに年間指導計画と月間指導計画等が作成されている。3歳未満児と障害児は個別計画を複数職員で立てている。継続的に発達記録をして援助体制をつくり、関わる職員間で共有しながら育ちを確かなものにしていく。特に個別指導計画は保育者の働きかけや家庭との関りを込めたもので、保育実践の振り返りを行ってきめ細かな保育が行われている。</p>			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容及び方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>こどもが主体的にあそべるような玩具や遊具を用意し、こどもにもわかるように表記してあり、片づけもしやすくしてある。広くはないが園庭もあり、キッチンセットを置き、砂をつかっただけの「ごっこ遊び」などが楽しめるように配慮されている。2階ホールや屋上でもさまざまな運動ができる環境がある。</p>			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容及び方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園庭での砂あそびや運動あそびなど乳児の発達に即したあそびを取り入れ、手指や足といった部位等身体能力の向上を図っている。保育室の絵本や玩具は整理され分類されていて、こどもも手にとりやすい。職員間で発達をうながす活動を共有してこども達へ声がけしている。送迎時の保護者との立ち話や連絡帳を通して家庭と育ちを共有している。個人記録がしっかりと記載されていて、それを個人面談で伝えている。</p>			

22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
園児の個別の発達に基づいて目標を立て、自分でできることを徐々に増やすようにして、生活習慣の基本となるようにしている。長期・短期計画には、個々の発達を参考に計画を立て発達を促すことをねらいとしている。自立した生活習慣を目指すと共に、他児をも考えられる基礎を育もうとしている。一人ひとりの個人票に発達過程を記録し、引継ぎをしている。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
当番活動を取り入れて、満足感を味わうことを配慮している。また、友だちと相談しながら遊びを展開するようになるので、共同遊びのできるブロックや積み木などの玩具を用意して、こどもたちが関心のある遊びができる環境をつくっている。屋上には鉄棒や竹馬、夏にはプール遊びができるように環境を整えている。乳幼児からの記録を見ながら継続した声がけなどを行っている。保護者とは連絡帳や個人面談での相談事などの記録を基に支援を行う。			
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
園に近くには大きな公園があり、四季折々の木々の様子や秋にはどんぐり拾いなどを楽しんでいる。市の福祉バスを使って遠足に行っている。地域のお祭りに参加したり、老人ホームに遊びに行き世代を超える交流を体験している。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。
(評価コメント)			
こども同士がけんかした際は、こどもが気持ちを言葉で伝えられるように声がけをして、なぜけんかになったのかを考え、こどもが納得する解決に取り組んでいる。ルールについては、守る理由や自らがルールを守る意識を育てる声がけをしたり、「朝の会」の進行役などをする事によって、社会的責任感を養えるようにしている。散歩時や時間外保育・土曜保育、行事を通じて異年齢の活動をしている。			
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント)			
特別な配慮が必要なこどもには、個別の指導計画に基づいて保育している。関わる職員は研修を受けている。気になるこどもについては、必要に応じて市の巡回指導を利用したり、市発達センターと連携しながら、保護者の協力の下で援助を行っている。保護者にはこどもの様子を伝えると共に、成長に伴い生じる“困り感”がないように援助の仕方を伝えている。			

27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント)			
時間外保育の担当との引継ぎは、担任からの口頭伝達と時間外保育ノートで行われている。パート職員にもOJTの研修が行なわれている。長時間保育のこどもには18時におやつ・水分補給、19時には補食を提供、異年齢保育で自主的に遊べる環境を配慮している。発達の違いから、18時まででは安全を考慮して、乳児と幼児を分けて保育している。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	
(評価コメント)			
保護者との連携は年2回の保護者会や個別懇談会・保育参加が設けられている。個人記録をもとにこどもの成長を伝え、保護者と共有して保護者からの相談に応じている。面談内容は記録して、必要に応じて職員で共有し、園長にも報告し、園長は助言や対応をしている。配慮の必要な家庭には、個別支援をしている。現在は外国籍の家庭でも保護者のどちらかが日本人のため、言語は日本語を用いている。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。(小規模事業所は該当せず 非該当)
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。(小規模事業所は該当せず 区)
(評価コメント)			
小学校の街探検や中学校の保育体験を実施。就学に向けての地域の保育園・幼稚園との交流、年長児と小1との交流会、市幼保小連携事業による職員間の会議や引継ぎなどを行っている。地域子育て支援の「このぼりアートプロジェクト」「滝前不動新春竹青」の塗り絵、老人ホームの夏祭りやクリスマス会に参加している。年度末には、進路先の小学校へ指導要録等を手渡している。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
日常的に登園時や着替えの視診などであざがあるかどうかを観察しているほか、登降園時に親子の様子を観察することで、不適切な養育の兆候の有無や虐待の把握に努めている。兆候があった時は園長に報告し、必要なら同時に市の保育相談課や児童相談所とも連携して対応することになっている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
年間の「保健計画」を作成し、定期に内科・歯科健診を行っているほか、毎月の身体測定を連絡帳で保護者に伝えている。こどもの健康状態を保護者が毎朝記入しているので、保育中の健康状態を継続して観察注意することができる。午睡時には担当職員がSIDSの確認を行い記録している。同時にSIDS研修も2歳児担当職員は受けている。なお、SIDS記録は3歳以上児にも行うことが推奨されているので確認し検討いただきたい。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症における業務継続計画(BCP)は定期的に見直しされて、職員で共有している。保育中の体調の変化は迅速に保護者に知らせ、必要に応じて医療機関での受診を推奨する。怪我など緊急を要するものは、保護者に連絡の上、職員が受診の対応を行う。感染症が発生した時は、必要に応じて嘱託医や市や保健所に連絡し指示に従う。園内消毒や手洗い・うがいの励行・ペーパータオルの使用・換気など日常的に感染予防に努めている。			

33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
季節の食材を取り入れ、行事食には特に力を入れて楽しい献立で、こどもや保護者に喜ばれている。入所時の個人面談で、離乳食の進め方やアレルギー食材除去の仕方を保護者・栄養士・担任で共有している。食物アレルギー児対応マニュアルも作成され、食事の受取りと提供の仕方を確認し、誤食防止に努めている。アレルギーが発症した時の役割分担表もチャート式で作成されている。食事に関しては、楽しく食べることを基本として、完食を求めたり偏食を直そうと強要はしていない。トライクッキングでは豆のさやむきなど行い、食への興味をうながしている。給食サンプルの提示は保護者に好評である。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
保育室の環境管理は空気清浄機や加湿器の設置、換気と採光などを適切な状態に保つように管理されている。手洗いのあとはペーパーを使用している。洗面所には手洗いの仕方をイラスト入りでわかりやすく掲示している。保育環境は整理整頓がされているが、共同で遊ぶ玩具などは、保育室の片すみに寄せるだけでなく、棚を設置するとより“きちんと感”が伝わり、整然と片づけられた環境になる。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
事故発生マニュアルが作成されて、職員にも伝えられている。ヒヤリハットを職員で共有して、事故防止に努めている。事故発生時には、事故報告書を速やかに作成、原因を究明して再発防止に努めている。防火に関して、自主検査表の①定期(建物構造、避難施設、火気使用設備器具、電気設備)と②日常(就業時の火気確認、電源の遮断、給食室・倉庫の施錠確認など)で毎日職員が点検し記録されている。遊具や玩具は土曜日に点検している。不審者対策も訓練に組み込まれている。登降園時には、玄関に職員が一人立ち安全を見守っている。保護者は名札提示を行っている。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
災害時の業務継続計画(BCP)が策定され定期的に見直し、職員に周知されている。避難訓練は月に1回行い、その都度さまざまな状況を設定して実施している。自衛消防訓練を年2回実施。災害発生時はアプリで保護者へ一斉配信で知らせる。引き取り訓練も年に1回行い、非常食や備品の確保・管理をしている。2歳以上児については個々の防災頭巾を用意している。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
地元自治会に加入して、パトロールやゴミ拾いなどボランティアに参加したり、地域のお祭りやイベントでダンス発表や絵の出展参加している。園施設の開放や子育て支援情報の積極的な提供は現在できていない。しかし、今後は自治会の回覧版などを通じて、子育て相談を広く知らせたり、園庭開放を予定したいと園では考えている。			